

【スポーツ振興くじ助成事業資料】

31 年度スポーツ振興くじ助成事業として実施しました FABU cycle challenge の報告資料

助成事業名 FABU サイクルチャレンジ

助成事業者名 特定非営利活動法人スポーツサイクリング FABU
project

1 助成事業の概要

(1) 事業の目的

自転車ロードレースの開催によりサイクルスポーツ環境の提供と、スポーツサイクリン

グ人口の底辺の拡大と普及振興及び地域振興

(2) 実施内容

FABU サイクルチャレンジ1 吉野大峯ヒルクライム

実施日 2019 年 5 月 12 日(日)

FABU サイクルチャレンジ2 吉野 5 峠ヒルクライムラリー

実施日 2019 年 7 月 21 日(日)

FABU サイクルチャレンジ3 高取城・戦国ヒルクライム

実施日 2019 年 8 月 25 日(日)

FABU サイクルチャレンジ4 五條吉野川シクロクロス

実施日 2019 年 10 月 6 日

FABU サイクルチャレンジ5 吉野修行の道ヒルクライム TT

実施日 2019 年 10 月 27 日

FABU サイクルチャレンジ6 奈良 6 峠ヒルクライムラリー

実施日 2019 年 11 月 3 日

FABU サイクルチャレンジ7 吉野 MTB 2 時間・4 時間エンデューロ

実施日 2018 年 12 月 1 日

FABU サイクルチャレンジ8 芋峠ヒルクライムタイムトライアル

実施日 2020 年 3 月 22 日新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

自転車の様々な競技をシリーズとして開催し年間の総合ポイントを競います。ポイントは各競技別に決められたポイントを付与。広く一般を募集して多くの競技に挑戦してもらいました。参加者数は延約 1000 名で、参加者の地域は近畿を中心に中国四国地方や中部関東地方からも参加者が集まりました。

奈良県内におけるサイクルスポーツ環境の提供と、スポーツサイクリング人口の底辺の拡大と普及振興及び地域振興に貢献できたと考えます。



FABU サイクルチャレンジ 2 吉野 5 峠ヒルクライムラリー状況報告

- 実施日／2019年7月21日(日)
- 天候／晴れ 最低気温 11 度、最高気温 28 度
- 主催／NPO 法人スポーツサイクリング FABU project
- エントリー数／27 名 (男子ロード 27 名)
- スタッフ／FABU 運営 8 名
- 実施時間／開始午前 6 時 00 分、終了午後 5 時 30 分

午前 6 時より受付開始、6 時半より注意説明の後スタート位置の吉野山入り口まで移動して、午前 7 時よりスタート。タイムトライアル形式で一人ずつのスタートを開始する。今日一日吉野の山々の 5 つの峠を超えていく。一つ目は吉野山大峯を登る。続いて参加者は黒滝へくだり洞川温泉へ続く小南峠を登った。ここはタイム計測せずに通過チェックのみとなる。参加者は洞川温泉を通りみたらい溪谷へ向かう。まだリタイヤはない。みたらい溪谷を 6km ほど走りスタート地点へ。行者還トンネルまでのタイムトライアルを実施。ここまできるとかなり参加者はきつようだ。業者還の後は大台ヶ原のスカイラインをタイムトライアルする。ゴール地点は 7 月というのに気温が低い。ゴールした選手はウインドブレーカーを着込み下っていった。最後は川上村から吉野山への大峯を再度戻る。合計 3 箇所のタイムトライアルと 2 箇所の峠越えチェックでヒルクライムラリーは終了した。4 名がタイムオーバー、2 名がリタイヤとなったが午後 5 時半無事終了した。



FABU サイクルチャレンジ 3 高取城・戦国ヒルクライム状況報告

- 実施日／2019年8月25日(日)
- 天候／晴れ 最低気温 21度 最高気温 32度
- エントリー数／112名
- スタッフ／39名
- 実施時間／開始午前7時00分、終了午後3時00分

前日のコース準備を午前9時集合でスタッフ9名がコース清掃を行い枯れ枝小石等を除去した。その他転落防止ネット設置、グレーチングカバー、距離表示板の設置、ゴール設置、ゴールに自転車駐輪ラックの設置等を行う。午後はメイン会場の高取町役場前のステージ設置などを行い14時30分に終了した。

大会当日は例年になく比較的気温も低く、爽やかな日だった。午前6時30分よりスタッフにより受付の設営をし、7時20分より各部所毎にスタッフミーティングを行う。7時50分より選手受付開始。8時30分から開会式。選手は役場前にクラス別に整列し、高取町教育委員会教育長の安田光治に挨拶をいただく。その後実行委員の注意事項の説明の後、選手は数班に分かれて観音寺のふるさと農道スタート地点へ移動した。立哨スタッフは8時30分には各交差点に配置完了。スタート地点では橿原警察署の主導のもと9時よりふるさと農道及び県道の通行止開始。選手は9時5分よりスタートラインに整列。9時15分からカテゴリー単位30人から2分間隔でスタートしゴールの高取城跡に向って戦いを繰り広げた。9時23分で全スタート終了。

結果は年齢によるカテゴリー別でタイムを競い、最高タイムは一番若いAカテゴリーの17分48秒、続いてBカテゴリー最高タイムは18分1秒、Cカテゴリー最高タイムは19分1秒、Dカテゴリー最高タイムは19分3秒、マウンテンバイクカテゴリー最高タイムは19分45秒。女子のトップは22分12秒だった。最下位のタイムは44分22秒でした。ゴールした選手は全員高取城まで徒歩にて登り、最終走者を待つ間、高取町ボランティアガイドに城跡の説明を受けたり、支給されたドリンクを飲みレース後のひとときを城跡で過ごし、最終走者が城址に到着し下山となった。

参加選手は10時半頃からスタッフの先導のもと下山し全員高取町役場に帰ってくる。マンゴーヨーグルトと高取町ふれあい加工部さんによるカレーライスに参加者に支給。レース後の身体を癒した。表彰式は12時から表彰式となり、高取町教育長より各クラス別入賞者に表彰状と高取町より地元の物産が贈られる。また全員賞品の当たる抽選会も実施、地元やさいなどがプレゼントされ午後1時に解散となる。スタッフは最後の片付けをして午後3時に解散した。

応援者は高取町のマイクロバス2台で、中間地点の壺阪寺の駐車場に上がり声援を送った。

全スタッフや高取町ボランティアの協力もあり、第11回の大会を事故も無く終わることが出来た。参加者からは好評価の声があった。



FABU サイクルチャレンジ 4 五條吉野川シクロクロス状況報告

- 事業名／五條吉野川シクロクロス
- 実施日／令和元年10月6日
- 実施場所／吉野川水辺の楽校
- 天候／曇り一時雨
- 気温／最低18度、最高26度
- 主催／特定非営利活動法人スポーツサイクリング FABU project
- 後援／奈良県、五條市、五條市教育委員会
- 協力／日本スポーツ振興センター、五條市商工会、五條市商工会青年部、京都府自転車競技連盟、吉野川活性化プロジェクト、トーヨーフレーム
- 実施イベント／シクロクロス、チームエンデューロ
- 参加人数／シクロクロス 135名うち小学生以下28名
チームエンデューロ 25チーム76名
- 参加府県内訳／大阪88名、奈良53名、京都20名、和歌山15名、滋賀13名、兵庫9名、三重8名、
愛知3名、徳島1名、静岡1名
- スタッフ人数／5日準備 15名
6日 25名
- 観戦者／80名
- 実施時間／開始午前7時、終了午後4時30分

事前の準備には五條市シルバー人材センターにより河川敷公園の草刈りをしていただきました。また五條市商工会、京都府自転車競技連盟のお手伝いをいただきコース設営を行い良いシクロクロス用の約2kmのコースができました。今回は階段も使い、河原の砂地もコースとして利用する変化に富んだコースとなっています。準備は3時に終了し、今回招待選手として招いていますトーヨーフレームの竹之内悠選手のシクロクロス教室が開かれました。大会当日は気温も良く一時雨も降りましたが上々の自転車日和となりました。7時45分より試走の開始、選手たちは思い思いにコースに出て確かめるように走り出す。45分の試走終了後、力量別に設定されたカテゴリーでレースがスタートする。第1レース目のカテゴリーはビギナークラス。約35名の選手が選手だまりに集合して大会本部からの注意説明竹之内選手の紹介の後9時よりレースの開始となりスタート合図とともにコースに走り出す。1レース目は30分のレースで30分間で一番多くコースを周回した選手が1位となる。第1レース終了の後第2レース第3レースと次々と行われた。女子クラスは11名の参加があった。小学生以下のキッズレースも実施、こちらも年齢別で行う。子供達も普段走ったことのない草原を楽しそうに思いっきり走っていた。少しスケジュールが過密となり予定より遅れて16時にすべての競技を終える。参加者は怪我もなく無く終了した。参加選手全員には五條市および五條市商工会より地元の柿が振舞われました。大会スタッフとして五條市シルバー人材センター、五條市商工会にもお手伝いをいただき、一部の立哨と駐車場のさばきをお願いいたしました。みなさんのご協力でできました今回のコースの評判は参加者に好評で、次回もぜひ参加したいという声を今回の参加者からもらい全日程を無事終了いたしました。



FABU サイクルチャレンジ 5 吉野修行の道ヒルクライム状況報告

- 実施日／2019年10月27日(日)
- 天候／晴れ 最低気温16度 最高気温24度
- エントリー数／24名
- スタッフ／14名
- 実施時間／開始午前6時30分、終了午後3時00分

今年初めての試みで実施しました吉野修行の道ヒルクライムは春に実施しています吉野大峯ヒルクライムと同じ地域ですが、コースが全く違う道を利用したヒルクライムです。春の大会の斜度は平均5～6%と比較的緩やかですが、今回の大会のコースは平均8%を超え最高斜度は20%を超える激坂コースで行いました。

朝6時半から受付を開始し7時15分より一人ずつ走り出す形式でスタートしました。選手は吉野山の街中を通り、世界遺産の吉野山金峯山寺の門前を通過して桜で有名な上千本から奥千本の修行門までを走り切りました。優勝はハリーズ ジェームズ 19分52秒、2位は森 健太郎 20分23秒でした。表彰式は吉野山観光駐車場にてクラス別と総合の表彰をして終了した。



FABU サイクルチャレンジ 6 奈良 6 峠ヒルクライムラリー状況報告

- 実施日／2019年11月3日(日)
- 天候／晴れ 最低気温 10度 最高気温 18度
- エントリー数／47名
- スタッフ／8名
- 実施時間／開始午前6時30分、終了午後5時00分

毎年台風の影響で道路が寸断されコースを変更しているが、今年は本来のコースに戻り明日香—吉野—大峯—下市—五條—高取—明日香のコースで実施しました。6つの峠でタイムトライアルをするという特殊なラリーで普通に走るより過酷な走行となる大会です。男子は年齢別に3クラスにわけ、女子の参加は1名でした。明日香を8時よりスタート開始、一人ずつ5秒間隔で走り出しました。どのピークにもタイムリミットが設けられているので選手は気が抜けません。明日香を無事通過して次は吉野山です。ここでもタイムトライアルをして地元のお店で肉まんの振る舞いがあったあと大峯に挑みます。もうだいぶ選手には疲れが出てきております。続いては下市の峠を越え五條の峠に挑み、最後は高取城までの辛い坂道を挑みました。最後は明日香へ16時30分をリミットにゴール。それぞれの峠のポイント合計の最高ポイントが優勝。今回は90ポイントが優勝、2位が88ポイントと僅差の勝敗でした。5時から表彰式を行い5時半に解散となり無事終了しました。



FABU サイクルチャレンジ 7 吉野 MTB4 時間エンデューロ状況報告

- 実施日／2019年12月1日(日)
- 天候／晴れ 最低気温3度 最高気温15度
- エントリー数／40名
- スタッフ／前日8名、当日8名
- 実施時間／開始午前6時30分、終了午後5時00分

前日にコース準備でスタッフがコーステープを張ったり、路面の悪いところを養生したりしてコースを作る。当日の朝は大変冷え込み会場のコースは一面白い霜で覆われた。9時15分に試走を開始、思い思いにコースを確認する。コースは昨年と少し変わり変化に富んだコースとなった。9時45分より注意事項の説明のあと10時より2時間、4時間のエンデューロを一齐にスタートする。一周1.9kmのコースに速い選手は約7分、遅い選手で約10分ほどかかり真剣に周回を重ねる。レースは2時間を経過したところで2時間クラスはレース終了ゴールとなった。一番周回した選手で16周回で総距離約30kmを走破した。4時間クラスはレースを続行、トップは時折入れ替わるデッドヒートで4時間レースが終了した。トップは31周回の59kmを走破して終了した。その後上位の表彰式の後スタッフでコースのあと片付けをして大会は無事終了した。

